

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 東京酸器	代表者	神尾 英樹	法人・事業所の特徴	・1人1人の利用者の個別の能力を見極め、その方に合わせた適切で丁寧な介護を行う事により、住み慣れた自宅や地域で長く住み続けられる様に支援している。 ・スタッフのチームワークが良く、離職率が低い。
事業所名	ディアフレンドならしの	施設長	畑 嘉代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	2人	1人	1人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	前回の改善計画と一緒に、外部評価の進め方の研修等があれば、1人1人のスタッフが参加できるようにして行く。	外部評価の進め方の研修がなかったため、スタッフを参加させる事が出来なかった。所要所で管理者より説明を受けた。	評価方法が変わった2年前より、職員の評価が良くなっている。それに伴い、職員の意識も向上しているように思う。	外部評価の外部研修が今年度は1度もなかったため、内部研修を実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	事務所入口にマットを置くようにする。 インターホンをつける。	全て取り組めた。	特になし	事務所不在の事があるので、事務所不在をなくすよう努力する。
C. 事業所と地域のかかわり	1人1人のスタッフがならしの相談室や地域ケア会議に参加できるようにする。	毎回ではないが参加している。	地域との関わりとは、具体的にどのような事が求められているのか判らない。地域として、出来る事と出来ない事がある。	外部から講師を招いた研修やボランティア来所の際、地域にお住まいの皆様以案内を出し参加を働きかけ、実績を集計する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	月1回行っている研修の中で、外部から講師をお呼びした際に、地域にお住まいの皆様以案内を出し参加を働きかける。	取り組めた。	特になし	「地域に出向いて～支える取り組み」とは大変難しいので、小規模連絡会の他事業所や行政に具体的な取り組みを聞き協同する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	前回の改善計画と一緒に、運営推進会議にスタッフを参加させる。運営推進会議の議事録に全職員が目を通すようにする。	数名のスタッフが参加している。	特になし	前回の改善計画と一緒に、運営推進会議にスタッフを参加させる。運営推進会議の議事録に全職員が目を通すようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練を毎年5月と11月に行うように日程を決める。避難訓練マニュアルを作成する。緊急連絡網の整備と模擬訓練を行う。	緊急連絡網の模擬訓練のみ行えなかった。 その他は取り組めた。	特になし	ホームページに災害時の収容人数や施設の広さをアップする。